

主要施策名:(2)生涯学習の充実

事務事業本数:15

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
②人と文化を育む地域づくり	(2)生涯学習の充実	(1)社会教育の推進	221-1	社会教育委員・指導員活動及び研修事業	コミュニティ推進課
			221-2	社会教育団体支援事業	コミュニティ推進課
			221-3	地域学校協働活動推進事業	コミュニティ推進課
			221-4	人権教育啓発推進研修事業	コミュニティ推進課
			221-5	成人式開催事業	コミュニティ推進課
			221-6	高齢者教室開催事業	コミュニティ推進課
		(2)公民館の振興	222-1	公民館施設管理・運営事業	コミュニティ推進課
			222-2	生涯学習推進事業	コミュニティ推進課
			222-3	岱明町ホテルの里維持管理事業	コミュニティ推進課
			222-4	生涯スポーツ推進事業	コミュニティ推進課
		(3)図書館の振興	223-1	図書館運営事業	コミュニティ推進課
			223-2	子ども読書推進事業	コミュニティ推進課
			223-3	図書館システム事業	コミュニティ推進課
			223-4	図書館施設管理事業	コミュニティ推進課
		(1)社会教育の推進	221-7	青少年センター事務局事業	コミュニティ推進課

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 社会教育委員活動及び研修事業	委員による教育委員会諮問への意見や調査研究を行う。	会議等参加回数	回	8	8	8	8
② 社会教育指導員活動事業	指導員による特定分野への指導や学習相談等を行う。	放課後子ども教室等参加回数	回	17	18	18	18
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象(社会教育委員活動参加数)	36	36	26		30	
投入コスト合計(千円)	3,738	2,527	2,489		3,217		
対象1単位あたりのコスト(千円)	104	70	96		107		
コスト評価(対前年比)	***	147.92%	(↑)	73.32%	(↓)	89.27%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 社会教育委員活動参加者数	委員として委員会会議や各種事業に参加した延べ人数	人	40	40	40	40
2 社会教育指導員助言等回数	指導員が指導・助言・相談を行った回数	回	20	20	20	20
			20	21	20	

* 成果未達成時の理由 九州ブロック研究佐賀大会が大雨災害により中止となった。また、新型コロナウイルスにより、令和元年度第2回社会教育委員会議の開催が出来なかったため、社会教育委員の参加人数が成果未達成となった。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	b
	<input type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
公平性	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
公平性	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	b
	<input type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
	<input type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b
	<input type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.00 %】
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(負担金をとることはできない)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	平成31(令和元)年度から社会教育団体補助金を交付するあたり、委員から意見を聴取して交付した。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
総合判定	A		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	社会教育委員活動の活発化のため、各種研修会・大会等委員活動において、委員相互の情報交換を行うなど委員の資質向上を図りたい。また、社会教育指導員については、市内全域で取り組む地域学校協働推進事業等において実態把握や、研究・提言などの支援を行いたい。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)	社会教育委員活動及び研修事業	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	社会教育事業全般において社会教育委員の果たす役割は非常に重要であることから、地域学校協働推進事業等においても支援の役割を担えるよう十分な連携のもと事業を推進する必要がある。	評価責任者 平川 伸治
----------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	社会教育団体支援事業		所管課 【2】	コミュニティ推進課
			作成者(担当者)	芥川 由佳
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実		
	施策区分	(1)社会教育の推進		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 市教育振興基本計画 <input type="checkbox"/> 該当なし			
	事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務		
会計区分 【7】		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	社会教育団体は社会教育活動を推進するための市民団体であり、市の社会教育行政の活性化のために必要で重要な組織であることから、可能な限りの支援が求められている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、社会教育団体
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	社会教育団体活動の振興、普及、発展に寄与する公益性の高い団体に財政支援や人的支援を行う。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	・各種団体の活動や運営に対する市補助金の交付 ・事務局庶務及び事業実施に対する人的支援 ・家庭教育に関する講演会開催を各单位PTAに委託
	【15】 事務事業を構成する細事業(7)本 <input checked="" type="checkbox"/> ① 市子ども会連合会支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> ② 市PTA連絡協議会支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 青少年育成市民会議事務局支援事業

《事務事業実施に係るコスト》

		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	2,487	2,360	2,224	2,449
		【16】 小 計	2,487	2,360	2,224	2,449
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	390	0		
	職人件費	職員人工数	1.16	1.05	1.25	1.25
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,476	5,476
		会計年度任用職員の人件費(千円)				0
		【17】 小 計	6,873	6,191	6,845	6,845
		合 計	9,360	8,551	9,069	9,294

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 市子ども会連合会支援事業	活動等に対する補助金交付や人的支援を行う。	開催事業参加者数	人	1323	1336	1178	400
② 市PTA連絡協議会支援事業	活動等に対する補助金交付や人的支援を行う。	開催事業参加者数	人	553	536	870	550
③ 青少年育成市民会議事務局支援事業	活動等に対する補助金交付や人的支援を行う。	開催事業参加者数	人	301	265	228	300

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
対象(開催事業参加者数)	2177	2137	2276	1250
投入コスト合計(千円)	9,360	8,551	9,069	9,294
対象1単位あたりのコスト(千円)	4	4	4	7
コスト評価(対前年比)	***	107.45% (↑)	100.42% (↑)	53.59% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 社会教育推進団体数	社会教育団体の構成団体数	団体	14	13	12	12
2 社会教育団体における事務局自立率	社会教育団体で事務局が自立している数/社会教育団体数	率	80.0	80.0	80.0	80.0
* 成果未達成時の理由			定期的団体(PTA等5団体)+変動団体(女性の会6団体)=11団体。女性の会は会員の高齢化等を理由に申請は減少傾向。11団体中、自立している団体は、8団体。			

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(団体支援事業のため)	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	女性の会補助金については説明会において、助成期間が令和2年度までのため今後は見直しを図りながら助成金額を減額していく方向性であることを説明会資料に明記した。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	社会教育団体に対する補助金の支援については、団体の運営として長年支援してきた。補助金の減額は、事業に支障をきたすおそれがあるため慎重に検討する必要がある。自主運営に関しては14市中(PTA12市)(子ども会4市)(市民会議2市)が自主運営している中で玉名市は全ての事務局をもっており団体が市に依存しているのが現状である。公金外現金取扱いの観点からも段階的に事務局を団体に移行できるよう促していきたい。R3年度から青少年育成市民会議を廃止し、一部の事業を青少年センター事務局事業に統合する。		
次年度への予算反映(運動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input checked="" type="checkbox"/> ・減額 (細事業名) 青少年育成市民会議事務局支援事業、女性の会助成金交付事業、家庭教育講演会による委託事業		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	評価責任者
引き続き社会教育団体の自主的な運営ができるよう促し事務局の移管に努める。	平川 伸治

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	地域学校協働活動推進事業		所管課【2】	コミュニティ推進課			
			作成者(担当者)	緒方 麻依子			
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり					重点 施策【4】
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実					
	施策区分	(1)社会教育の推進					
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 社会教育法、熊本県教育・文化等振興補助金交付要綱 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし						
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務						
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 10 項 5 目 1 細目 7						

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	子ども達を健やかに育むためには、学校、家庭及び地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で子ども達を育む体制づくりを目指す必要がある。そのため、学校・家庭・地域が連携協力し、地域住民の参画による地域の実情に応じた取組を有機的に組み合わせ、授業等における学習補助や教員の業務補助、様々な体験や地域との交流活動など学校の要望に応じた学校支援活動を行う必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市立小中学校21校の児童・生徒と教職員 小学校の低学年
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	玉名中学校に本部を置き、市立小・中学校21校において、本部の活動指導員が連絡調整を図り、地域からの支援員による学校への各種業務支援を行うことで、教職員の負担が軽減することになり、教職員が児童・生徒と向き合える時間を増やす。また、小学校の空き教室を活用した安全・安心な活動拠点を確保し、地域の大人が見守りを行うなかで地域との交流や学びあいの場を設け、子供たちの豊かな人間性を育む。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H19 年度から】 【 年度～ 年度まで】	
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】	
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】	
事務事業の具体的内容 【14】	<input checked="" type="checkbox"/> 市立小中学校21校が要望する学校現場での様々な支援を支援本部(玉名中学校)に登録した学校支援員が支援する。 支援内容(読み聞かせ、印刷、環境整備、丸付け、英語事業、部活動見守り、絵手紙、手芸、家庭科調理支援、特別支援等の学校のサポート業務、地域交流学習会) ・小学校や地域に事業実施を呼びかけて実施校区を決定し、地域住民がコーディネーター、学習アドバイザー、安全管理人を務め、放課後に児童の活動拠点としての支援活動を行う。	【15】 事務事業を構成する細事業(2)本
		① 学校支援地域本部事業
		② 放課後子ども教室推進事業
		③

《事務事業実施に係るコスト》

		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	0	0	0	2,402	0
		県支出金	1,049	697	719	2,402	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	568	490	340	2,403	0
		【16】 小 計	1,617	1,187	1,059	7,207	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0			
	職人件費	職員人工数	0.20	0.70	0.50	0.30	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,476	5,476	
		会計年度任用職員の人件費(千円)				1,080	
	【17】 小 計	1,185	4,127	2,738	2,723		
合 計	2,802	5,314	3,797	9,930			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 学校支援地域本部事業	要望のあった業務に対し、学校支援員を学校へ派遣する。	支援要請種目数	種類	10	13	13	13
② 放課後子ども教室推進事業	小学校の空き教室で放課後に地域住民により体験学習を実施する。	放課後子ども教室実施校数	校	2	2	2	2
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
対象(支援要請種目数)	10	13	13	13
投入コスト合計(千円)	2,802	5,314	3,797	9,930
対象1単位あたりのコスト(千円)	280	409	292	764
コスト評価(対前年比)	***	68.55% (↓)	139.95% (↑)	38.24% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 教員が児童・生徒と向き合えた時間数	学校側からの支援要請に支援員が対応した時間	時間	950	950	600	3000
			794	623	499	
2 放課後子ども教室参加児童数	教室に参加した児童の人数	人	40	40	20	20
			32	15	19	

* 成果未達成時の理由 県の補助金額の減額に伴い、事業費も減額され活動の実施時間も減った。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(地域と学校の支援事業のため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	学校や地域の要望が増加していることから玉名中及び玉陵中校区の6小中学校で地域学校協働活動推進事業を実施した。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	地域と学校が連携、協働し、地域住民、団体等の参画により、社会総がかりで教育の推進を行うことを目的に令和2年度から小中学校21校に拡大して実施することとした。今後も補助金の減額により、事業実施が難しくなる可能性もあるが、子どもの成長を軸にした地域社会の基盤構築と活性化を図るために現状のまま継続していきたい。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	地域住民が学校の要望に応じた学校支援活動を行うことは、教職員の負担軽減となり、地域全体で子どもたちを育む体制づくりを構築することに繋がる。また、地域との交流の場を持つことで地域全体で子どもたちを見守る意識の醸成にもつながることから継続すべき事業と考える。	評価責任者 平川 伸治
----------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	人権教育啓発推進研修事業		所管課 【2】	コミュニティ推進課						
			作成者(担当者)	池田 景子						
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり				重点 施策 【4】				
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実								
	施策区分	(1)社会教育の推進								
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】									
	<input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】									
	<input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市人権教育・啓発基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし									
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業									
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務									
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】		款	10	項	5	目	1	細目	9

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	同和問題をはじめとする、様々な分野での差別や偏見の解消のための取組みが行われてきたが、依然として職場や地域社会における人権に関わる問題が引き起こされ、当然の権利である基本的人権が十分に保障されていない事実がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、小学生、中学生、高校生、学校教職員、人権
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	正しい理解と知識をもって正しい人権感覚を養い、すべての人の人権意識を高める。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・玉名市人権教育研究協議会に委託して講演会等を開催する ・玉名市人権教育研究協議会総会開催への人的な支援を行なう ・玉名市人権教育研究大会を開催する ・人権・同和教育各研修会に参加する ・人権週間における街頭啓発活動を行う	【15】 事務事業を構成する細事業(4)本 ⇒	① 市人権教育推進協議会事務局庶務事業
			② 市町村人権同和教育協議会事業
			③ 人権教育推進啓発事業

《事務事業実施に係るコスト》

		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,234	2,225	1,913	2,775	0
	【16】 小 計	2,234	2,225	1,913	2,775	0	
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0		
	職人件 の費	職員人工数	0.35	0.45	0.55	0.55	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,476	5,476	
		会計年度任用職員の人件費(千円)				0	
【17】 小 計		2,074	2,653	3,012	3,012		
合 計		4,308	4,878	4,925	5,787		

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 市人権教育推進協議会事務局庶務事業	協議会へ人権教育研究大会を委託すると共に、事務的支援を行う。	開催回数	回	1	1	1	1
② 市町村人権同和教育協議会事業	協議会主催の研修会に参加する。	参加回数	回	5	5	5	5
③ 人権教育推進啓発事業	人権啓発週間における啓発物を配布する。	啓発活動日数	回	4	4	4	4

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
	対象(人権教育研究大会参加者数)	504	496	502
投入コスト合計(千円)	4,308	4,878	4,925	5,787
対象1単位あたりのコスト(千円)	9	10	10	12
コスト評価(対前年比)	***	86.91% (↓)	100.24% (↑)	84.77% (↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 市人権教育研究大会開催賛同率	意識調査による参加者の大会開催についての賛同者の割合	%	90	90	90	90
2 市人権教育研究大会参加者数	参加者数	人	500	500	500	500
* 成果未達成時の理由			504	496	502	

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 [22]	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(事業内容的に受益者負担を求めるものではない)	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	多くの市民の皆様の人権について分かりやすく、理解できるように玉名市文化センター内に人権教育パネルを設置して意識啓発を図った。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、人権に関する研修会等は3密をクリアした上で実施することになり、研究大会等の100人を超える研修会の開催が困難である。このため、社会情勢に応じた人権教育を実施するため、集会形式によらない新たな啓発活動を実施する必要がある。		
次年度への予算反映(連動) [27]	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [28]	新型コロナウイルス感染症拡大防止による施設の使用に制約があるため研究大会を始め研修会の開催を見送っている状況である。これまでの方法に加えて、関係者以外の多くの市民に対して人権問題の解消に向け新たな啓発手段を研究する必要がある。	評価責任者 平川 伸治
-------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	成人式開催事業		所管課 【2】	コミュニティ推進課	
			作成者(担当者)	緒方 麻依子	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり			重点 施策 【4】
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実			
	施策区分	(1)社会教育の推進			■ 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 ■ その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分 【6】	■ ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務				
会計区分 【7】	■ 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 10 項 5 目 1 細目 11				

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	満20歳を迎えたことで、成人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする新成人者を祝い励ます機会は重要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	当該年度に成人式を迎える市民
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	成人として自覚と責任を促し、地域社会の一員としての期待を認識させる。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】	
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】	
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】	
事務事業の具体的内容 【14】	各中学校区の新成人者の代表2名ずつを「成人式実行委員会委員」として選出し、その実行委員会にて企画運営を行い、イベントの実施と式典により成人式を開催する。 【実行委員会の役割】式典の企画と運営、当日の式典運営、アトラクション、記念品、案内状のデザイン、成人式のテーマ(実行委員会の実施回数は8回程度。) 【市の役割】対象者案内・会場予約、広報、来賓通知、予算執行、実行委員会の運営など個人情報に係る業務については市で実施している。	【15】 事務事業を構成する細事業(1)本 ⇒ ① 玉名市成人式開催事業 ② ③

《事務事業実施に係るコスト》

		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	909	777	743	1,020
	【16】 小 計	909	777	743	1,020	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0		
	職員人件費	職員人工数	0.05	0.30	0.35	0.35
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,476	5,476
		会計年度任用職員の人件費(千円)				0
【17】 小 計		296	1,769	1,917	1,917	
合 計	1,205	2,546	2,660	2,937		

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 玉名市成人式開催事業	成人式実行委員会を組織し、成人者の企画運営により式を挙行する。	成人式案内者数	人	673	680	637	650
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
	対象(参加者数)	531	515	519
投入コスト合計(千円)	1,205	2,546	2,660	2,937
対象1単位あたりのコスト(千円)	2	5	5	6
コスト評価(対前年比)	***	45.90% (↓)	96.46% (↓)	87.25% (↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 成人式参加率	【参加者/案内者数×100】	%	75	80	75	76
2 成人式満足度	式当日に実施するアンケート調査での参加者の満足度の平均回答値	%	79	75	81	95
			80	95	95	95
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
			効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
			公平性 <input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(市負担事業のため) [24]

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	新成人者の代表による実行委員会形式での式典の企画・運営を行った。また、2022年の民法改正による成人年齢の引き下げに伴う2023年1月3日予定の成人式は、「20歳を祝う集い(仮称)」として20歳を対象に従来どおり執り行う予定。2020年中に教育委員会へ報告し、記者発表することとした。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	新成人の門出をお祝いするとともに、自らの行動に自覚と責任を持ち、家族や仲間、地域との絆を深め、心身共にたくましい社会人になるように激励するため現状にまますま継続とする。		
次年度への予算反映(連動) [27]	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input checked="" type="checkbox"/> ・減額 (細事業名) 玉名市成人式開催事業		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [28]	民法の一部改正により成人年齢が18歳に引き下げられるが、「玉名市20歳を祝う集い(仮称)」として、これまで通り企画運営を実行委員会形式で継続する予定であり、市としても支援していく。	評価責任者 平川 伸治
-------------------	--	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 高齢者教室事業(中央)	高齢者へ学習の場を提供する	講座開催回数	回	12	12	12	12
② はつらつ健康大学事業(天水)	高齢者へ学習の場を提供する	講座開催回数	回	1	0	0	1
③ いきいきシルバー大学事業(横島)	高齢者へ学習の場を提供する	講座開催回数	回	3	3	0	0

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象(高齢者教室・シルバー大学受講者数)	474	500	418		500	
投入コスト合計(千円)	219	251	1,323		2,422		
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	1	3		5		
コスト評価(対前年比)	***	92.04%	(↓)	15.86%	(↓)	65.34%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	
1						
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.00 %】 【24】
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由()	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	特になし		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	高齢者教室を実施することで、生きがいを見つけ、共に学ぶ喜びを共有し、健康で楽しく豊かなまちづくり意識の高揚に繋がることから、今後も継続的な学習機会の提供に努めていきたい。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input checked="" type="checkbox"/> 増額 (細事業名) 高齢者教室(中央) <input checked="" type="checkbox"/> 減額 (細事業名) はつらつ健康大学事業(天水)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	人生100歳時代の到来と共に高齢者教室を充実させることは、新たな生きがいづくりと社会への関わりを創生することにつながるから、時代に合った学習内容を模索し受講者の掘り起こしを進める必要がある。	評価責任者 平川 伸治
----------------------	---	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 中央公民館(文化センター)施設管理運営業務	施設の維持管理・運営や貸出等を行う。	利用件数	件	1962	1928	1666	1000
② 岱明町公民館施設管理運営業務	施設の維持管理や貸出等を行う。	利用件数	件	1546	1566	1527	980
③ 横島町公民館施設管理運営業務	施設の維持管理や貸出等を行う。	利用件数	件	1449	1511	1358	880

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
対象(公民館利用率)	25	24	23	20
投入コスト合計(千円)	45,704	54,126	60,005	59,245
対象1単位あたりのコスト(千円)	1,828	2,255	2,609	2,962
コスト評価(対前年比)	***	81.06% (↓)	86.44% (↓)	88.07% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 公民館利用率	年間申請件数÷利用可能コマ数(開館日数×3(午前・午後・夜間))	%	21	22	23	20
			25	24	23	
2						

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 5.12 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由()	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	大河ドラマ館の隣接や教育会館の解体工事に伴い、文化センターの駐車場は規模縮小していたため、大人数での利用は減少していた。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月2日～31日の期間、4公民館全て臨時休館であったため、利用者数は大幅に減少した。 施設の維持管理・修繕に関しては、緊急なもの及び軽微なものは随時行い、市有財産台帳に記録している。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	蛍光灯の製造中止により文化センター内の電気設備に関してLED化を進める必要がある。しかし、全体的に行う予算は確保できていないため、蛍光灯の安定器が故障した箇所から随時LED化を行い、LED化状況を記録していく。また、築40年近く経過しているため、老朽化が見受けられる。大規模改修時に行うことができる修繕に関しては、施設内を点検し、記録を行う。緊急修繕や軽微なものに関しては、今年度も継続して行う。市有財産台帳を活用し、修繕の記録を行う。また、施設利用方法に関して、新型コロナウイルス感染拡大防止のための利用制限措置を行っている。利用制限により今年度も利用者数は減少する可能性が高いが、安心安全に利用するためのソフト面における措置であるため、今後の情勢と利用状況を注視しながら公民館利用制限について検討していく。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	公民館施設の安全性を十分確保するとともに、新型コロナウイルスの拡大防止のため衛生面でも徹底した対策を施したうえで運営を心掛ける。また、老朽化した岱明町公民館の建設が早期に実現できるように利用者の意見を聴きながら議会の理解を得られるよう努力する必要がある。	評価責任者 平川 伸治
----------------------	---	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 中央公民館生涯学習事業	各種講座を開催し、子どもから高齢者までの学習の機会を与える。	講座開催回数	回	127	138	131	114
② 岱明町公民館生涯学習事業	各種講座を開催し、子どもから高齢者までの学習の機会を与える。	講座開催回数	回	89	76	76	53
③ 横島町公民館生涯学習事業	各種講座を開催し、子どもから高齢者までの学習の機会を与える。	講座開催回数	回	56	64	70	54

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象(講座受講者数の割合)	77	75	88		100	
投入コスト合計(千円)	12,954	13,809	13,970		15,780		
対象1単位あたりのコスト(千円)	168	184	159		158		
コスト評価(対前年比)	***	91.37%	(↓)	115.98%	(↑)	100.60%	(↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 講座受講者数の割合	募集定員に対する受講者数の割合	%	100	100	100	100
			77	75	88	
2						

* 成果未達成時の理由 子どもの数の減少、高齢者の就業継続、ライフスタイルの変化等により、講座の受講生や社会教育事業の参加人数が減少傾向にあるため。一方、横島町公民館において夏休み及び冬休みに開講した子ども向け講座は受講者数も多く、大盛況だった。そのため、

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/>	市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.00 %】 【24】
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由(該当しないため)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	予定していた講座は全て開講できた。また、前述のように横島町公民館で開講された子ども向け講座は大盛況であった。しかし、利用者のニーズに沿った講座展開を行う予定であったが、数字で出ているように、受講者数が伸びていないため、ニーズに沿った内容の講座展開はできていないと考えられる。受講生を対象に行ったアンケートの精査と時代の流れを読み解き、必要だと思う講座に特化して、講座の開講を行う必要がある。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	現在、公民館講座では趣味に近い講座を多く開講している。しかし本来ならば、公民館講座は人材育成や地域の課題解決等、社会教育の観点において講座の開講を行う必要がある。したがって今後は、社会教育係と連携し、人材育成や地域の課題解決に繋がる講座の展開を行う。また、趣味に近い講座は縮小させつつ、自主サークルへの移行を促し、活発な活動を行えるよう支援を図る。さらに、例年開催していた生涯学習フェスティバルに関しては、主催講座受講生のみでの参加であったが、自主サークル団体も参加できるように、フェスティバルのあり方の再構築を図る。また、例年市民会館で生涯学習フェスティバルを行っていたが、自前の施設で開催できるか検討する必要がある。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	多様化・高度化する利用者の生活課題や学習ニーズを的確に把握し、公民館講座を通じて地域や世代間の交流が図られ、新たな担い手づくりと生きがいや地域社会に還元できるような取り組みを進めていく。	評価責任者 平川 伸治
----------------------	---	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 岱明町ホテルの里維持管理業務	施設の点検、修理等を行い、適切に管理を行った。	点検、修理確認回数	回	10	12	12	12
② 岱明ホテルの里委託業務	ホテルの生育に必要な環境の整備を外部に委託して行った。	環境保全活動日数	日	365	365	366	365
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算			
	対象(観賞会等参加人数)	3117	2203	1800	2500		
	投入コスト合計(千円)	1,609	1,827	1,654	1,666		
	対象1単位あたりのコスト(千円)	1	1	1	1		
コスト評価(対前年比)	***	62.24%	(↓)	90.25%	(↓)	137.89%	(↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 成虫したホテルの割合	幼虫から成虫になったホテルの割合	%	25	25	25	25
2 ホテルや環境保全に関心を持つ人数	観賞会・保護活動等に参加した人数	人	2500	2500	2500	2500
			3117	2203	1800	

* 成果未達成時の理由 諸般の事情により、観賞会が自粛となり鑑賞者数の減少が生じた。(ホテルの生育については十分な量であった。)

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
			効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
			公平性 <input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(市負担額が妥当) 【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	特になし。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	ホテルの里周辺整備並びにホテルの生育を通して、環境保全活動、情操教育に寄与することは大きく、今後も本事業の持続的継続できるよう調整を行う。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		
総合判定	A		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	ホテルの里は、子供たちの環境教育の場でもあり玉名市の恵まれた自然環境という財産保護の一環として、ホテルの里事業の役割は大きいことから、ハード面の整備については継続して実施すべきと考える。	評価責任者 平川 伸治
-------------------	---	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① みかんの里スポーツまつり事業	補助金を大会実行委員会に交付し、大会開催の支援を行う。	実行委員会等開催回数	回	4	4	4	4
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
対象(参加者数)	6953	6882	854	900
投入コスト合計(千円)	9,729	14,513	4,543	5,211
対象1単位あたりのコスト(千円)	1	2	5	6
コスト評価(対前年比)	***	66.35% (↓)	39.64% (↓)	91.88% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 スポーツイベント参加者数(全体)	延べ参加者数	人	6000 6953	6000 6882	1050 854	900
2 スポーツイベント参加者数(市外)	延べ参加者数(市外)	人	4600 5967	4600 5944	750 645	700

* 成果未達成時の理由 毎年11月23日に開催している本大会は、他の大会とも重なりまた、毎週この時期には九州各県においても多くのマラソン大会が開催されている。毎年同じ内容の企画運営のため参加者にとって魅力が欠けてきているものと思われる。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(市がおこなう事業のため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	参加者の増員を図るため各競技団体に県外、県外の大会参加時にチラシの配布等を積極的にお願いしたが、参加者数は前年度864名から今年度854名とほぼ変わらない数となった。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終了	総合判定	A	
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容 【27】	みかんの消費拡大及びPR活動としての開催については、費用対効果も薄いと考える。また、他の市町でも、スポーツイベントとしてマラソン大会に取り組まれている自治体も多い中、本市においても、横島いちごマラソン、玉名ハーフマラソン(競技種目)と同様のイベントが開催されている。令和元年度から金栗四三のドラマ化に伴ってフルマラソン大会が横島いちごマラソンと一体で開催(中止)となったため有効的な事業の集約化を考える時期にきている。財政課との協議もあり令和2年度で本事業を終了したい。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input checked="" type="checkbox"/> ・減額 (細事業名) みかんと草枕の里スポーツまつり			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	みかんの消費拡大及びPR活動としての開催については、費用対効果の面からも開催方法を見直す時期に来ていると考える。地域内の交流を目的とするものであるなら同時期に他のスポーツイベントも多く開催されており、人的な支援も厳しいことから他との集約や規模縮小についても検討すべきと考える。	評価責任者 平川伸治
----------------------	--	---------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	図書館運営事業		所管課【2】	コミュニティ推進課							
			作成者(担当者)	井上 純奈							
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり			重点 施策【4】	<input type="checkbox"/> 該当					
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実									
	施策区分	(3)図書館の振興									
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 図書館法、玉名市図書館条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし										
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務										
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】			款	10	項	5	目	3	細目	2

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	今日の図書館においては、多様化、高度化する市民の学習ニーズに対応できる図書資料の整備が求められていることから、各図書館の蔵書及びその構成、システム等の専門知識を備えた公共図書館としてサービスを提供する必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	図書館利用者、団体、図書館
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	窓口サービスを向上させ、利用者ニーズにあった図書資料を計画的に収集することで、蔵書の充実及びインターネット端末利用拡充を図り、より多くの方に利用してもらう。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・窓口業務をとおして図書館運営の充実を図る。 ・利用者のニーズにあった図書資料を収集して計画的に蔵書の充実を図る。 ・市民のニーズにあった図書備品の購入。 ・寄付金を活用して図書資料(児童書)の充実を図る。 ・図書館の利用拡大及び読書推進を図るための運営や管理を行うために、協議会に対し館長が諮問し、図書館方針について、いただいた意見を反映する。		
	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業(6)本 ① 図書館窓口業務 ② 図書館資料整備事業 ③ 図書備品事業	

《事務事業実施に係るコスト》

		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	58,954	68,358	64,623	73,926
	【16】 小 計	58,954	68,358	64,623	73,926	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	1,208	1,208	0		
	職人 員 の 費	職員人工数	0.35	0.25	0.30	0.30
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,476	5,476
		会計年度任用職員の人件費(千円)				554
		【17】 小 計	2,074	1,474	1,643	2,197
	合 計	61,028	69,832	66,266	76,123	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 図書館窓口業務	委託業者により貸出・返却などの窓口業務を行う。	図書館(4館)の平均開館日数	日	291	271	265	276
② 図書館資料整備事業	収集方針に基づき購入図書を選定や発注を行う。	年間購入冊数	冊	10758	13175	13460	12464
③ 図書備品事業	市民のニーズを踏まえた本や視聴覚資料の購入を行う。	年間購入資料数	点	29	36	63	43

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
対象(図書館利用者)	96137	97071	89785	94000
投入コスト合計(千円)	61,028	69,832	66,266	76,123
対象1単位あたりのコスト(千円)	1	1	1	1
コスト評価(対前年比)	***	88.24% (↓)	97.47% (↓)	91.14% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	
1 人口一人当たり図書貸出冊数	人口一人当たりの図書貸出冊数	冊	5.5	5.5	5.6	5.2
2 利用者一人当たり図書貸出冊数	利用者一人当たりの図書貸出冊数	冊	5.4	5.5	5.1	
			4	4	4	4
			3.8	3.8	3.7	

* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開館日数が減少したため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(市が行う事業であるため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	天水図書館については、開館より1年が経過して徐々に利用や貸出等も増えてきている。まだ書棚がたくさん空いているため、本の種類や冊数を増やしていく必要がある。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	岱明図書館、天水図書館に関しては、まだ全ての本棚が埋まっていない。今後も利用者のニーズに合わせて本を選書し蔵書冊数を増やしつつ、利用者の増加に努める。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	利用者や図書館協議会の意見を十分取り入れて地域ごとに特色ある図書館運営を目指すと共に、岱明図書館及び天水図書館については、地域の特色を生かした蔵書の充実を図る。	評価責任者 平川 伸治
----------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	子ども読書推進事業	所管課【2】	コミュニティ推進課
		作成者(担当者)	井上 純奈
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり	
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実	
	施策区分	(3)図書館の振興	
重点施策【4】	<input type="checkbox"/> 該当		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 金額 0 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 図書館法、玉名市図書館条例、子どもの読書活動の推進に関する法律 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画、玉名市子ども読書活動推進計画(第二次) 】 <input type="checkbox"/> 該当なし		
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務		
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 10 項 5 目 3 細目 3		

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	現在こどもの生活環境はテレビやゲーム、携帯電話、インターネット等の様々な情報メディアの発達・普及により情報が氾濫する中正しい判断能力が必要とされる。さらに幼児期からの読書週間の未形成により読書離れが進行し、その影響が懸念される。国は「子どもの読書活動の推進に関する法律」を公布するなど、すべての子どもがいつでも、どこでも読書ができる環境づくりに取り組む事とされている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	乳幼児、小学生、中学生、高校生
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	図書館への関心を深めるとともに、子どもが読書に親しむ機会を提供し読書環境の充実に努める。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・子どもが読書に親しめるように家庭、学校、関係機関等と連携・協力して読書に親しむ機会を提供する。 ・図書館から離れた保育所(園)・幼稚園・小学校を移動図書館車で巡回して貸出を行い読書に親しんでもらう。 ・ボランティアの協力で赤ちゃんと保護者にブックスタートパックを紹介し絵本を配布する。 ・各図書館でボランティアグループによるおはなし会を行う。	<input type="checkbox"/> 【15】 事務事業を構成する細事業(4)本 ⇒ ① 子ども読書活動推進事業 ② 移動図書館車事業 ③ ブックスタート事業	

《事務事業実施に係るコスト》

		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	5,195	1,485	1,333	1,581	0
	【16】 小 計	5,195	1,485	1,333	1,581	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	806	806	0			
	職人件費	職員人工数	0.34	0.35	0.40	0.40	
職員の年間平均給与額(千円)		5,925	5,896	5,476	5,476		
会計年度任用職員の人件費(千円)					554		
【17】 小 計	2,015	2,064	2,190	2,744			
合 計	7,210	3,549	3,523	4,325			

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 子ども読書活動推進事業	童話発表大会・読書感想文等の読書に親しむ機会を提供する。	子ども読書活動行事実施回数	回	8	8	8	8
② 移動図書館車事業	移動図書館車で市内の保育所、小学校等を巡回する。	巡回回数	回	479	452	388	440
③ ブックスタート事業	乳幼児4ヶ月健診での読み聞かせと絵本を配布する。	絵本配布数	冊	1008	916	878	934

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
	対象(図書館利用者)	96137	97071	89785
投入コスト合計(千円)	7,210	3,549	3,523	4,325
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
コスト評価(対前年比)	***	205.14% (↑)	93.17% (↓)	85.29% (↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 高校生以下図書カード登録者数	高校生以下の図書カード登録者数	人	330	340	350	310
2 高校生以下利用者一人当たり図書貸出冊数	高校生以下の利用者一人当たりの図書貸出冊数	冊	3.5	3.5	3.5	3.5
			3.3	3.3	3.3	

* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開館日数が減少したため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input checked="" type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(市が行う事業であるため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	童話発表大会や読書感想文コンクールなど、子どもたちが本に触れる機会を提供できるよう努めた。			
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	継続して読書に親しむ機会を提供していく。			
次年度への予算反映(連動) [27]	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)			
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [28]	幼児期から本に触れる機会を充実させることが、将来的な読書離れを遅らせることに繋がることから、移動図書館を始めおはなし会やブックスタートパック紹介など、市図書館独自の取組をさらに推進する。	評価責任者 平川 伸治
-------------------	---	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 図書館システム(ソフトウェア)運用事業	クラウドサービスの利用により貸出管理、蔵書管理、レファレンス等の業務を行う。	図書館の(4館)の蔵書冊数	冊	248902	259634	266600	270000
② 図書目録作成事業	図書館システムのデータベースに図書目録を作成する。	図書目録冊数	冊	5065	5162	5524	5600
③ 図書館オンラインポータルサイト(TOOL)使用事業	「tool」を用いて発注し、図書のデータを登録、管理する。	図書登録冊数	冊	8472	10642	10724	11000

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象(図書館利用者)	96137	97071	89785		94000	
投入コスト合計(千円)	5,767	5,629	5,465		5,783		
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0		0		
コスト評価(対前年比)	***	103.45%	(↑)	95.27%	(↓)	98.94%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 図書館(3館)貸出冊数	貸出延べ冊数	冊	360000	400000	380000	350000
			361588	364468	336673	
2 図書購入メールリクエスト及び貸出ネット予約合計件数	図書購入メールリクエスト及び貸出ネット予約が行われた合計件数	件	1500	1500	1500	1600
			1019	1591	1627	
* 成果未達成時の理由		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開館日数が減少したため。				

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点		評価結果
	妥当性【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
効率性【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input checked="" type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(図書事業のため)		【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況【25】	システムを利用した資料の登録を行い、予約やリクエスト等もシステムを活用しながら迅速に行えるようになった。		
今後の方向性【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
総合判定	A		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	継続して図書館システムの活用を図っていく。		
次年度への予算反映(連動)【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【28】	図書システムを活用し利用者のニーズを的確に図書館運営に反映させることで貸出冊数の増加に繋げる必要がある。更には図書館閉館時でも利用可能な電子図書についても費用対効果を検討すべきと考える。	評価責任者 平川 伸治
------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 [1]	図書館施設管理事業		所管課 [2]	コミュニティ推進課
			作成者(担当者)	井上 純奈
総合計画での位置付け [3]	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり	重点施策 [4]	
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実		<input type="checkbox"/> 該当
	施策区分	(3)図書館の振興		
実施の根拠(複数回答可) [5]	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【年度予定 金額 0千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【図書館法、玉名市図書館条例】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【玉名市教育振興基本計画】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 [6]	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 [7]	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 10 項 5 目 3 細目 5

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) [8]	各図書館は建設後年数が経過し老朽化が進行していることから、利用上の安全性の確保や、効率的な施設管理が必要である。
対象(誰、何に対して、受益者等) [9]	図書館利用者、団体、図書館
意図(どのような状態にしたいか) [10]	利用者に対して安全で快適な図書館を提供するために施設の維持管理を適切に行う。

《事務事業の概要》

事業期間 [11]	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【年度】 【H17年度から】 【年度～年度まで】
事業主体 [12]	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【】
実施方法 [13]	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【】
事務事業の具体的内容 [14]	<p>・施設の定期点検(消防設備点検、警備保障点検、浄化槽清掃維持管理等)を行い、図書館が安心・安全に利用できるよう維持管理を行う。 ・利用者に配慮し、安全で快適な利用環境を確保するため修繕等を行う。</p>
	【15】 事務事業を構成する細事業(3)本 ⇒ ① 図書館施設維持管理事業 ② 図書館施設修繕事業 ③ 横島図書館施設改修事業【新規 採択】

《事務事業実施に係るコスト》

		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	8,000	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	820	8,408	0
		一般財源	20,474	4,326	5,262	7,440	0
		【16】小計	20,474	4,326	6,082	23,848	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	125	0	0			
職人員の費	職員人工数	0.25	0.25	0.30	0.30		
	職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,476	5,476		
	会計年度任用職員の人件費(千円)				554		
	【17】小計	1,481	1,474	1,643	2,197		
合計	21,955	5,800	7,725	26,045			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 図書館施設維持管理事業	委託業者により施設の各整備を定期的に点検する。	設備点検委託件数	件	5	4	4	4
② 図書館施設修繕事業	施設や設備の修繕を行い、安全で快適な利用環境を確保する。	修繕件数	件	10	8	11	10
③ 横島図書館施設改修事業【新規採択】	カーボンマネジメント強化事業を活用し、空調・照明設備の設計及び改修を行う。	設計及び改修件数	件	-	-	1	1

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算	
	対象(図書館利用者)	96137	97071	89785		94000
投入コスト合計(千円)	21,955	5,800	7,725		26,045	
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0		0	
コスト評価(対前年比)	***	382.21% (↑)	69.44%	(↓)	31.05%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	
1 図書館利用者数	図書館利用者(4館)の延べ人数	人	95000	95000	98000	94000
			96137	97071	89785	
2						

* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開館日数が減少したため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(市が行う事業であるため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	経年劣化等により、随時修繕等を行った。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後も利用者が安心して図書館を利用できるよう施設の維持管理に努める。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	市民図書館を始め施設の老朽化により随時修繕が必要な施設があることから、利用者に対して安全で快適な施設環境を提供するために施設の適切な維持管理に努める。	評価責任者 平川 伸治
-------------------	---	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 青少年センター事務局事業	教育委員会が委嘱した補導員により青少年を健全に育成する。	街頭補導実施回数	回	311	311	297	311
② 社会を明るくする運動事業	広報等の啓発活動を行う。	広報車巡回活動	回	2	2	2	2
③ 玉名広域補導連絡協議会事務局庶務事業	広域的に、青少年に関わる事業に取り組む。	街頭補導実施回数	回	84	84	84	84

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象(街頭補導実施回数)	397	397	383		397	
投入コスト合計(千円)	7,052	5,894	5,701		6,257		
対象1単位あたりのコスト(千円)	18	15	15		16		
コスト評価(対前年比)	***	119.65%	(↑)	99.74%	(↓)	94.44%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 市内少年犯罪発生件数	市内における18歳未満の少年少女が犯した犯罪発生件数	件	17	5	14	7
2 玉名警察署管内の検挙・補導件数	玉名警察署が検挙・補導した件数	件	12	8	16	9
			9	17	10	

* 成果未達成時の理由 令和元年度の市内犯罪件数及び管内の検挙数の実績は前年度に比べ減少している。また、令和元年度の目標も達成しているが、更なる犯罪の減少となるように警察と連携・協力していきたい。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(市の事業であるため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	平成30年度末に九州地区少年補導センター等連絡協議会及び全国青少年補導センター連絡協議会から脱退した。脱退したことに伴い旅費の負担や業務の負担が軽減した。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	1市3町で構成している玉名広域補導連絡協議会とセンターを有する5市で構成する熊本県少年補導センター等連絡協議会に加盟している。内容的には重複する部分も多いのが現状であり、回数や会議内容については検討していきたい。事務事業見直しに伴い、R3年度から青少年育成市民会議を廃止することに伴い事業の一部を「社会を明るくする運動事業」に統合する。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input checked="" type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) 社会を明るくする運動事業 <input checked="" type="checkbox"/> ・減額 (細事業名) 青少年センター事務局事業		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	少年犯罪は減少傾向にあるものの、他所では重大案件も多く発生していることから、青パト巡回や地域の見守り活動等を通して、また、玉名警察署や関係団体の協力を得ながら安心安全のまちづくりの実現に向けて取り組む必要がある。	評価責任者 平川 伸治
----------------------	--	----------------